



**【委員一同】**

異議なし。

**【巖副会長】**

異議なしとのご意見をいただきましたので、本会の新たな副会長につきましては、近畿大学総合社会学部教授の藤田様にお願いしたいと考えております。なお、藤田委員は本日ご欠席ですので、事務局より改めてご連絡頂き、ご承認いただければ副会長にご就任いただくという形で、ご対応頂きますよう、よろしくお願いたします。

**(2)第3次和泉市環境基本計画の進捗管理について**

○説明概要

令和2年度に策定した「第3次和泉市環境基本計画」の進捗状況として「令和6年度結果」及び「令和6年度に把握できた最新の結果」について具体的な数値目標を記載した資料に基づき報告した。

1. 代表指標

・「環境に関する学習会等」について

実施件数は令和5年度では946回、令和6年度では773回となっており、令和6年度は前年度と比較して173回減少した。大きく減少した事業として、いずみふれあい農の里における「みかん狩り体験」、信太山丘陵における「みどりとふれあう体験講座」等があった。それぞれの実施件数の減少の要因は気候や感染症対策に係る影響であることを説明。

・「市民1人あたりCO<sub>2</sub>排出量割合」について

令和3年度の排出量と比較して、令和4年度の排出量は大きく増加した。増加の主な要因として、和泉市域の世帯数の増加と、関西の電力会社のCO<sub>2</sub>排出係数が大きく増加したことの2点を説明。

・「人口に対する公共交通の利用率」について

鉄道、バス、地域バスの3つ全ての利用率が、令和4年度より増加となった。公共交通機関の利用率が増加した要因として、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が解除されたことを説明。

・「環境基準達成状況（騒音）」について

令和6年度の騒音の環境基準達成率は、令和5年度85.7%に対し、令和6年度57.1%と低下した。令和6年度は、計7カ所中3カ所で環境基準未達成となり、未達成であった調査地点は国道26号、国道170号、富田林泉大津線であった。いずれも交通量の非常に多い路線であり、昼間、夜間とも、環境基準をわずかに超えていた。引き続き、各路線の騒音レベルについて注視していくことを報告した。

## 2. モニター指標

### ・「学校教育における環境教育にかけた時間」について

前年度より授業時間が増加している学校があること、各学校の授業について説明。

### ・「環境に関する情報の発信回数」について

前年度比で若干減となったこと、特にホームページ公開数については、令和6年度に、公表ページを整理・統合したことにより、大きく減少したことについて報告。

一方、事業者向けの太陽光発電設備に関する注意事項についての情報や、自家用乗用車から電動アシスト自転車等への転換による二酸化炭素の削減効果等を掲載したページを新たに掲載する等、市民のニーズに合わせた新たなページを作成、公開を行っており、引き続き情報発信に努めていくことを説明。

### ・「資源化率」について

令和6年度における資源化率は前年度比で若干低下したことを報告。資源化率は、毎年減少傾向にあり、その主な要因として、ペーパーレス化が進んだことに伴い、新聞紙等の紙資源の発行部数が減少したためであることを説明。

## 3. その他の取組みについて

脱炭素の取組みとして「省エネ家電買替促進事業補助金」や、「再エネ・省エネ機器設置促進事業」、近年被害が拡大している「クビアカツヤカミキリ」に対する取組み及び実績について説明。

## 4. 評価

代表指標 15 項目のうち、目標に近づいた右上がりの評価が3項目で全体の20%、現状維持が8項目で約53.3%、目標から離れる傾向が見られた右下がりの評価が4項目で、約26.7%となったことを報告。

目標から離れてしまっている項目が散見されており、引き続き目標達成に向けて取り組んでいくこと、特に、本計画の重点プロジェクトの一つとして定めた「気候変動対策」として、再エネ・省エネ機器設置促進事業補助金の継続実施等により、二酸化炭素を始めとした温室効果ガスの削減を進めていくことを報告。

モニター指標については、「前年度より概ね向上した項目」が全体の約21.4%である一方で、「前年度より概ね低下した項目」が約35.7%となり、引き続き動向を注視していく旨説明。

○質疑等

**【委員】**

代表指標の「市民1人あたりのCO<sub>2</sub>排出割合」の令和12年度目標値について、「約2.62/t-CO<sub>2</sub>/年・人」と記載されているが、どのようにして設定したのですか。

**【事務局】**

CO<sub>2</sub>排出量については、国が令和12年度時点で、平成25年度比約46%削減するという目標を設定しており、国の目標に準じる形で設定したものです。

**【委員】**

モニター指標の「環境に関する情報の発信回数」について、拾っていく単位を「回/年」と記載していますが、実際に集計しているのは公開しているホームページ数と、広報記事数であり、この内容での進捗管理で良いのか疑問があります。

**【事務局】**

第3次和泉市環境基本計画策定時に、この指標で進捗管理を行っていく旨説明させていただき、承認を得て記載しているものです。今後、次期計画策定時等で修正するか、検討させていただきます。

**【巖副会長】**

そもそも何を想定した指標だったのでしょうか。

**【事務局】**

計画策定当時、環境に関する情報発信に力を入れていきたいという議論があり、広報紙やSNS、ホームページ等により各年度の情報発信の実績について報告していくこととなった経過があります。

**【巖副会長】**

各指標について、現在の指標の測り方では実態を正しく表さない場合もあるのかと思われます。次の第4次計画策定時には、指標のあり方について考える必要があるかもしれません。

**(3)第3次和泉市環境基本計画 中間見直し版(案)について**

○説明概要

(1) 代表指標の修正点

・①「町会・自治会や近隣住民と十分にコミュニケーションが取れてい

る」と思う市民の割合について、第6次総合計画の目標値と同じ目標値45.0%に修正。

- ・②「家庭系ごみ1人・1日あたりの排出量」、「事業系ごみ年間排出量」の目標値について、第6次和泉市一般廃棄物処理基本計画と同じ目標値に修正。具体的には、1日に1人の方が出すゴミの量を460g、年間の排出量を17,501tに修正。

- ・③「雨水管整備面積の割合」の目標値について、49.84%に修正。こちらは、下水道整備課が、現在の整備状況から今後の計画量を踏まえて算出した数字であることを説明した。

また、上記3点と別に、「人口に対する公共交通の利用率」の目標値を、令和6年3月改定時に修正していることを報告した。

## (2) モニター指標の修正点

- ・①「再生可能エネルギー等設備導入量」について項目内容の変更はしないが、令和8年度より集計項目を2点追加する。

具体的には、

1. 再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法、一般的にはFIT法と呼ばれるものに基づく市町村別導入容量
2. 令和6年度より本市が実施している「和泉市再エネ・省エネ機器設置促進事業」により導入した再生可能エネルギー設備導入容量の2点を追加する。

併せて新規、累計の両方を報告する予定であることを説明。

- ・②「地震や台風等の災害に対する備えができています」と思う市民の割合について、第6次総合計画に合わせて「地震や台風等の災害に対する備え（自助、共助、公助）ができています」と思う市民の割合に変更
- ・③「自分の住むまちが安全・安心だ」と思う市民の割合という項目を新規で追加する。第6次和泉市総合計画の市民アンケート項目として新たに追加される項目であり、第3次和泉市環境基本計画の基本目標の一つである「健康で安全な魅力ある住み続けたいまちをつくる」の指標として、モニターしていく必要がある項目であると判断し、この度新規追加する。

## (3) 各種取組の修正点

- ・リサイクルプラザ「彩生館」が2024年（令和6年）3月31日をもって閉館したことに伴い、関連の取組みを削除。
- ・基本施策に「ジモティースポットの活用を推進する」項目を追加。
- ・コラム「家庭用廃食油の回収について」を追加

(4) 重点プロジェクトの修正点

- ・本計画の重点プロジェクトの一つである「気候変動対策」に関連する取組に下記2点を追加。
  1. 森林環境譲与税に関する項目
  2. 熱中症対策に係る指定暑熱避難施設クーリングシェルターに関する項目。
- ・今回の中間見直しでの改定ではないが、温室効果ガス削減目標値について、令和6年3月に上方修正している旨も併せて報告。

(5) その他の修正点

- ・機構改革に伴い、担当部署名を変更する。  
ただし、令和8年第1回定例会終了後に、政策企画室に確認の上修正する。
- ・令和2年まで記載していた「年表」について、令和8年まで追加。
- ・一部の図やグラフなど統計資料を最新版データに更新
- ・「外来生物」に関するページに、本市内でも拡大しているクビアカツヤカミキリ等を追加

○質疑等

**【委員】**

彩生館の閉館に伴い、「市内のフリーマーケットの開催情報や、不要物の交換情報などの提供を行います。」という項目を削除するとのことですが、削除後、どこかで実施するということが起こりえる場合は、また本項目を再掲頂くことは可能でしょうか。

増田会長より、信太山丘陵でフリーマーケットを実施してはどうかというお話を頂いており、現在仕組みづくりを進めているところであり、一度項目を削除してしまうと、今後追加できなくなってしまう、といったことがないか懸念しています。

**【事務局】**

案として提示させて頂いたものですので、今後必要に応じて追加等することは可能です。本件については一旦持ち帰らせて頂き、掲載するかどうか、検討させて頂きたく思います。

**【巖副会長】**

彩生館ではなくても、別の形で情報発信するという事は、あってしかるべきという感じはします。

**【委員】**

「ジモティースポットの活用を推進する」という取組について、誰が運営されており、また、市と協定等を締結されているのか教えてください。また、クビアカツヤカミキリに関する項目が追加されたという点について、生息域の拡大状況と、市の認識と対応について教えてください。

**【事務局】**

ジモティースポットは、株式会社ジモティーが運営しております。また、市と株式会社ジモティーとで連携協定を締結しています。

特定外来生物クビアカツヤカミキリについては、市全体に生息域が拡大しております。令和6年度から防除用品のネット及び薬剤スプレーの無償配布事業を実施しており、本取組を通じて少しでも生息域の拡大を抑制したいと考えております。

**【委員】**

株式会社ジモティーさんは、何年契約で当該地にジモティースポットを設置されているのでしょうか。テナントの入れ替わりが激しいのではと懸念しています。

**【事務局】**

特に期限等はありません。開店から約2か月半経過しておりますが、先日事業者にはヒアリングしたところ、順調に営業されていると伺っております

**【委員】**

意見のみ述べさせていただきます。CO<sub>2</sub>排出量の削減目標のうち、家庭部門の削減比率が高いと思われませんが、ご存じの通り、各家庭はCO<sub>2</sub>排出量の削減について、非常に協力的になっております。体脂肪率の高い人が1kg減量するのと、例えるなら体脂肪率10%以下の人が1kg減量するのとでは努力の量が全然違うと考えており、今回非常に高い削減目標を設定されている点について、各家庭で疲弊しながらCO<sub>2</sub>の削減に協力しなければならないといった気持ちになってしまうようでは本末転倒ではないかと考えております。皆さんがこれだけ協力してくれたおかげで、これだけCO<sub>2</sub>排出量の削減できました、といった前向きな結果を強調頂く等、工夫していただければと考えています。

また、先程巖副会長からもご意見がありましたが、指標の設定や数値の取り方について、いろいろな資料や論文、論点があると思いますが、時代が変われば何を測っていけばよいかも変わってくると思いますので、こまめな転換ができるようお願いできればと思います。

**【巖副会長】**

貴重なご意見ありがとうございます。

一般家庭の無駄の多いところから CO<sub>2</sub> 排出量を削減していくのは簡単ではあると思われませんが、ある程度それが済んだ次の段階で、効果が上がっていることを実感できるような資料の見せ方をしないといけないという点は感じるどころです。

今回、新たに追加頂く「再生可能エネルギーの導入量」について、公共施設の導入量だけでなく、FIT による導入量や、市の補助で導入した量を追加で指標としていくのは、頂いたご意見を組んだ方向性かと思えました。

ちなみに、この「中間見直し版」はどのように公開されるのでしょうか。

**【事務局】**

中間見直し版については、市のホームページ上で公開することを想定しており、冊子として作成する予定はありません。

**(4)その他 (信太山丘陵里山自然公園協議会について)**

○説明概要

令和7年度の活動概要のほか、東側区域の整備工事（トイレ等）が始まっていることについて報告した。

○質疑

**【委員】**

活動の参加人数について、人数の増減等は確認できますが、同じ人が何回も参加されているのか、年齢層はどうなっているのかどうか、などわかりません。こういった活動の広がり进行分析の上で重要だと思うのですが、その点についていかがでしょうか。

**【事務局】**

本資料は、信太山丘陵里山自然公園の指定管理者から頂いたデータを記載したもので、そちらに確認したところ、同じ方が何度も参加していることもあると伺っております。一方で、高校生を始め若年層の参加も確認しており、若い方がどの程度増えてきているのか等、統計データとして報告できないか、検討させていただきます。

**【委員】**

例えば、若い方が関心を持っているのか、それとも高齢者が定年後の趣味として参加されているのかなど、参加者の状況を分析することで、今

後の広がりや認知度の拡大をどのように進めていくべきか、政策の方針が大きく変わってくると思われます。また、新規の方がどの程度増えたのかが分かれば、取組が広がりを見せているのか等、分析できると思いますので、今後「見える化」していただければと思います。

**【巖副会長】**

ご意見ありがとうございます。受付時に書き込む項目を増やす等、少し工夫して頂ければ、貴重なデータが収集できるのではないかと思います。

**【委員】**

参加者数が令和6年度と令和7年度で、実施回数が増加しているのに、参加者数が減少していますが、その要因は何かご存じでしょうか。

**【事務局】**

信太山丘陵里山自然公園の指定管理者から頂いたデータを記載したものであるため、詳細については確認しておりません。

**【巖副会長】**

信太山丘陵で実施していた「緑の自然観察会」について、みどりのツーリズム事業にて、市内各地で実施する方針に変更したと記載がありますが、この「みどりのツーリズム事業」とはどんな事業なのでしょう。また、環境基本計画にも記載のある項目でしょうか。

**【事務局】**

「みどりのツーリズム事業」は、過去の緑の自然観察会に代わるものとして令和7年度から実施している事業で、市内の3か所での自然観察会と、年2回市内の各所でワークショップや学校への出前授業等を、事業者への業務委託で実施する事業です。

第3次和泉市環境基本計画には掲載していません。

**【巖副会長】**

「みどりのツーリズム事業」は市独自の事業でしょうか。

**【事務局】**

はい、そうです。

**【巖副会長】**

他に意見や報告事項等はないですか。

ないようですので、これで本審議会を終了いたします。